

# 「職・住」再建 支えるホテル

コロナ禍で困窮する人を対象に、大阪市西成区でホテルを運営する会社が住まいの提供と同時に就労をサポートする取り組みを始めた。宿泊料の格安プランを打ち出して失業者らを支援してきたホテルの試みに、人材派遣会社が協力して実現。仕事を失い、住む場所を追われた人たちが生活再建への一歩を踏み出している。(福永正樹)



支援を利用して就職した男性(手前)と生活再建に向けて話し合うホテル社員(右)ら(大阪市西成区) 宇那木健一撮影

## 西成 派遣会社と連携、格安で宿泊

ゆるらぐ 暮らし  
コロナ禍で

支援を始めたのは、大阪市西成区でホテル4か所を運営する「ジュノングループ」と、人材派遣会社「総合請負サービス」(大阪市淀川区)。

新たな支援は8月からスタートした。ホテル側は一般客を受け入れる傍ら、失業者に空いた客室を安価(月4万5000円)で貸し出し、滞在中に人材派遣会社が仕事を紹介する。交通費を工面できない人のため、面接はホテルで実施。生活が安定するまでは宿泊費を立て替え、食料を無償提供する場合もある。

就職先は溶接や機械加工の工場で最初は契約社員だが、希望者には正社員への道も開かれている。ツイッターで募集すると全国から約20人の応募があり、これまでに約10人が採用さ

支援のきっかけはホテル側の「コロナ禍で苦しむ人を手助けしたい」との思いからだった。

ホテルはいずれも日雇い労働者の街「あいりん地区」近くのJR新今宮駅周辺にある。近年は外国人観光客の増加で好調だったが、新型コロナウイルスの感染拡大が直撃。昨年2月以降、客室稼働率は例年の2〜3割まで落ち込んだ。

ホテル側は「職を失い住む場所にも困る人を助けた」と今年1月から、空いた客室を利用して「1泊390円」の格安プランを開始。6月までに約1700人が利用し、大半は全国から集まった失業者だった。

プラン終了後、取り組みを知った人材派遣会社から「職があつてこそ生活再建につながる」と参加の提案があり、新たな支援が実現した。

支援を企画担当するジュノングループ販売促進担当の角谷正樹さん(48)は「明日の生活に困り、精神的に追い込まれた人たちのセーフティネットになりたい」と話している。

「仕事が決まり、光が見えてきた。本当にありがたい」。ホテルと人材派遣会社の支援を利用し、堺市の金属加工会社に職を得た男性(42)は話す。

男性は今年2月まで大阪市内の飲食店で正社員として勤務。コロナ禍でアルバイトが次々と辞め、人員不足から過労状態となり、退社を余儀なくされた。会社の寮を出て同市のホテルで暮らし、100万円以上あった貯蓄を取り崩しながら仕事を探した。

しかし、コロナ禍で希望の職種の求人はほぼなく、職探しは難航。食費を1日100円に切り詰めるまでに追い込まれていた10月、ツイッターで支援を知り、さすがの思いで西成区のホテルに向かった。当時の所持金は約3万円。面接を経て採用が決まった時は「救われた」と涙が止まらなかつたという。

男性は11月中旬以降、ホテルから会社に出勤しており、「コロナ禍で生活の基盤が崩れ、人生の坂道を一気に転がり落ちた。頂いたチャンスを生かし、一日も早く生活を立て直したい」と前を向いている。